

丸ごとかぶりつきたくなる！ トマト栽培

栽培のポイント

- トマトには苦土入りMリンPKが最適！
MリンPKを元肥に利用するとトマトの着果が良くなり、尻ぐされも減ります。追肥に使えば甘みや色のりが良くなり、直売所でも注目されるはず。
- 雨の前はMリンPK！
雨よけであっても、降雨は食味が落ちたり、花や実が着きにくくなります。雨が降る前日等にMリンPKを撒いて対策しましょう。
- アミノ酸豊富なバクヤーゼKとアミビタゴールドでコクが増す！
微量要素が豊富なバクヤーゼKは、ゆっくりと効くので元肥に最適です。追肥には高濃度アミノ酸液肥のアミビタゴールドで、コクのあるトマトにしましょう。



美味しいトマトは水に沈む！

トマトの施肥提案（1a = 30坪）

着果量が多い場合、バクヤーゼKとNK化成も増量する

資材名	元肥 ※	追肥① 3段目開花より10日おき	備考
苦土入りMリンPK	5kg	3kg	日照不足、雨が多い時期は苦土入りMリンPKを4～5kgに増量
バクヤーゼK	30kg	5～6kg	
NK化成	—	0～2kg	

※定植後も水を切らさず少量多カン水

●アミビタゴールドの使い方



- ①株と株の間、ウネ肩あたりに穴を空ける
- ②200倍液を100～200ml 流し込む
(2週間に1回程度)

簡単 200倍液の作り方

2Lペットボトルを用意する
水 + アミビタゴールド 10g



トマトの尻ぐされ

トマトの代表的な障害と病気

①尻ぐされ

石灰欠乏、水不足、窒素過多などが原因です。十分なカン水と苦土入りMリンPKの施肥、リーフアップCa 500倍の葉面散布で対策しましょう。

②青枯れ病

連作障害の一つ。栽培する場所を変えるだけでなく、善玉菌の多いバクヤーゼKを使い、病原菌の繁殖を抑制しましょう。